

全国大会「全力尽くす」

八学大女子 バスケ部 市長を表敬、抱負

八戸

21～23日に開催される第86回皇后杯全日本バスケットボール選手権に出場する八戸学院大学女子バスケットボール部の学生らが12日、八戸市庁に小林眞市長を訪ね、抱負を語った。同部は7月20～21日に行



小林市長（左端）に全国大会出場を報告する学生ら

われた県代表決定戦で優勝。全国大会1次ラウンドは東日本・中日本・西日本の地区別で行われ、各地区のトーナメントを勝ち上がった上位13チームが2次ラウンドに進む。同部は、千葉県船橋市で行われる東日本大会で北海道、東北、関東から集まった15チームと

2次ラウンド進出を懸けて戦う。

この日、市庁を訪れたのは小笠原滯主将(21)、東大野聖副主将(22)、西村葉月副主将(21)と橘勇佑ヘッドコーチの4人。小笠原主将は「今年のチームはとてもしっかりと、スタミナが持ち味。県の代表として全力で頑張る」と意気込んだ。小林市長は「全国大会でも勝ち上がり、結果を残して八戸に帰って来てほしい」とエールを送っていた。(工藤慎子)